

岸田外務大臣による国連ハイレベル政治フォーラム（HLPF） プレゼンテーション

1 日本のビジョンと国内基盤の提示

（１）冒頭（日本が掲げるビジョン）

日本の外務大臣の岸田文雄です。本日、SDGs達成に向けた我が国の決意をお伝えできることを大変嬉しく思います。

SDGs達成に向け、日本が掲げるビジョンは、「誰一人取り残さない」多様性と包摂性のある社会の実現です。私は、SDGsとは、「日本を元気にし、世界を元気にする取組」だと思います。

日本は、全ての方々が、その持てる能力を最大限発揮し、あらゆる場で活躍できる多様性と包摂性のある社会を創り出したいと考えています。それは、一人で厳しい生活の中、子育てしているお母さんやその娘さんも、あるいは障害を持って生まれた男の子であっても、誰もが活躍できる、そういう社会を私は創りたいのです。そのような社会の実現に向け、日本は、国内的にも国際的にもSDGs達成にしっかりと取り組んでいきます。

（２）基盤整備に向けた取組

このために、日本が真っ先に取り組んだのはSDGs実施のための「基盤整備」です。総理を本部長とする「SDGs推進本部」を設置し、様々なステークホルダーによる「SDGs推進円卓会議」等における意見交換を経て、「SDGs実施指針」を作成しました。

（３）パートナーシップを行動へ：PPAP

この基盤の下で、掲げたビジョンの実現を目指して、日本は走り続けています。その際、我々が大事にしている考えがあります。それは、「PPAP」。Public Private Action for Partnershipです。

政府だけでなく、市民社会や民間企業等を巻き込んだ日本の多様な叡智を結集させ、国内外で具体的なアクションを起こしていく、これこそが日本の進むべき道と信じています。

ここでPPAPに立脚した具体例をご覧くださいと思います。

～PPAP事例を紹介する動画～

2 小林りん氏の紹介

いかがでしたか。日本は、こうしたパートナーシップを結集し、叡智と技術を結集した取組を通じて、「誰一人取り残さない」世界の実現に向けて貢献していきます。

SDGsは、2030年とその先にある未来を造る取組です。その実現には、何よりも、次世代を担う子ども・若者のエンパワーメントが鍵となります。

ここで、一人の女性をご紹介します。小林りんさんです。彼女は日本でイノベーティブな高校の創設者兼代表理事として注目を浴びています。彼女の想いに耳を傾け、感じていただきたいことがあります。りんさん、お願いします。

～小林りん氏によるスピーチ～

3 次世代へのコミットメント

(1) 次世代に着目したSDGs達成の取組

りんさん、ありがとうございます。変革を起こす上で、若者の教育がいかに重要かを感じていただけたことと思います。日本政府としても、次世代に焦点を当てた施策を重視していきます。

まず、日本国内でも、格差是正や女性の活躍など、真剣に取り組むべき課題があります。この観点から、子どもの貧困や暴力への対策や若年者雇用対策を含め、SDGs実施指針に盛り込まれた関連施策を総合的かつ強力に実施します。また、新しい学習指導要領を通じ、子ども達が持続可能な社会の創り手となる教育を推進します。

国際協力の面でも、日本は、「人間の安全保障」の理念に基づき、SDGsに係る国際協力を推進していきます。特に、次世代に着目し、子ども・若年層に焦点を当てて、教育、保健、防災、ジェンダー分野等を中心に2018年までに10億ドル規模の支援を実施することをお約束します。

例えば、シリアでは、7つの国連機関と連携し、現場のニーズを踏まえ、校舎復旧、教員養成、保健に関する意識向上、避難民への教育等、複数の目標を同時に達成する支援を実施します。このような次世代に着目し、「人間の安全保障」アプローチに根差した包括的な支援を持続的に実施します。

(2) 日本におけるSDGsの認知度向上

こうした取組を強力に展開していく上で、日本国内におけるSDGsの認知度向上が不可欠です。政府は、既に、ジャパンSDGsアワードの創設やSDGsにコミットする団体へのロゴマークの付与といった取組を始めています。

加えて、地方でのSDGsの普及・推進を強化しています。私自身、先月、石川県を訪れましたが、独自の技術で課題解決を支援する地元の企業などの先進的な取組に感銘を受けました。この関連で、企業のSDGs達成への貢献を後押しするため、途上国での事業形成を支援するJICAの「SDGsビジネス調査」を積極的に展開します。

また、エンタメ業界とも連携しています。お笑いエンターテイメント会社である吉本興業や国内外で著名なエンタテイナーであるピコ太郎さんとの連携を進めています。こうした取

組を含め、SDGsの認知度向上と更なる取組の推進のために「国民運動」的活動を展開していきます。

この一環で、本日夜、官民連携型のレセプションを開催します。SDGsプロモーターであるピコ太郎さんが登場する他、日本企業や市民社会団体も各自の活動を紹介します。SDGs達成に向けた日本のPublic Private Action for Partnership, P P A Pを会場で感じていただきたいと思います。

“Leave no one behind!!”

ご清聴ありがとうございました。

(了)